

ぎふ清流国体で

安八のお宝を全国へ

「ギフとフラッグ」ワークショップ



6月10日(日)・16日(土)・17日(日)
ギフとフラッグ『安八の・わたしのまちのお宝の絵』のワークショップが中央公民館で行われました。

町民の皆さんに「安八町のお宝」を募集したところ187点もの応募があり、その中から両大会総合プロデューサーでありアーティストの日比野克彦氏によって5点(安八百梅園・安八温泉・町の花すいせん・ハートピア安八・しあわせの泉)が選ばれました。ギフとフラッグはこの5点の作品をもとにデザインされています。

ワークショップに参加した人たちは、安八町のお宝が描かれたギフとフラッグを『私たちのまち安八町』と題し「安八町そのものが私たちの宝物です」と話していました。

ギフとフラッグは、9月7日(金)の炬火リレーや9月29日(土)の総合開会式で披露されます。



「ギフとフラッグ」ワークショップに参加して



川畑 伶奈さん (森所在住) 金森咲紀子さん (大森所在住)

川畑伶奈さん(左)と金森咲紀子さん(右)は、登龍中学校3年生で大親友です。2人が参加したきっかけは「ギフとフラッグ」ワークショップに興味を持っていた咲紀子さんが、参加を迷っていた伶奈さんに声をかけ誘ったことです。2人は「ギフとフラッグを作製する過程で、色のバランスやデザインどおり丸み部分を表現するところが難しかったです。でも、1枚のギフとフラッグを囲み作業しているうちに自然とアットホームな雰囲気になり、世代の違ういろいろな人たちとふれあいながらコミュニケーションがとれたことがよかったです」と話していました。

※2人は同級生で大親友です!!